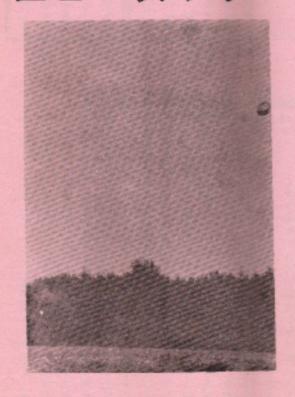
日本 GAP ニューズレター



No. 41

日本G A Pニューズレター 1970年・第41号目次

表紙写真は本号掲載記事「ルーマニアに出現した円盤」中の 写真3枚の内のNo.1。詳細は同記事を一

アポロ11号は

円盤に遭遇した

シャーロット・ブロップ

真数葉を送った)• 写真類を有難う(注=昨年九月二十三日の日本GAP総会の写みケジュールで手一杯ですっすべてはうまくいっています• スケジュールで手一杯ですっすべてはうまくいっています。かったことをお許し下さいっこちらはみな多忙で、いま講演会のかったことをお許し下さいっこちらはみな多忙で、いま講演会の十月十六日付のお手紙を受け取りました• すぐに返事が出せた

さてど質問にお答え致しますっ

は仰天して絶叫しました。彼が着水して空母が収容したとき、 衛星船のそばに二個の巨大な光る物体が飛んでいるのを見たとい 少佐の報告によれば、軌道を十三面廻って下降しよりとしたとき、 おいて地球を廻る軌道を飛んだ宇宙飛行士の一人です。 記憶していますか? 対している人々(政府)は米国の宇宙開発計画の進歩に関係ある りです。二人の宇宙飛行士は月面上の発見事については他言する が発見した多くつ貴重な情報があります。クーパー少佐の事件を 物事を大衆から隠しています。月面上の生命に関して宇宙飛行士 なと命ぜられました。宇宙人や円盤に関する情報を流すことに反 その物体の動き、大きさ、 アポロ11号は月面で何を発見したか? 彼は米航空宇宙局の初期の宇宙開発計画に 燃えるような輝きなどについて彼 については次のとか クーパー

> に巧みに隠されているかを知らせたいためです。 たのです。ところが今日までとの件に関しては何の発表もありまたのです。ところが今日までとの件に関しては何の発表もありまたのです。ところが今日までとの件に関しては何の発表もありまたのかと質問されました。彼がまさに答えよりとしたとき、少佐乗船していた多数の新聞記者にとり囲まれて、空中で一体何を見乗船していた多数の新聞記者にとり囲まれて、空中で一体何を見

です。この蒸発にブラザーズは関係していないことを私は知って 内容に関する発見を公表したとき失踪しました。彼はブラザーズ 載の『私は金星文字を解読した!』の筆者)彼はあの金星文字の (2)のリムにそって多くの生命活動を発見したといっています。 **戀)にもときどき何かの動きや活動が発見されています。一九五** います。地球の政府(注==これは複数となっており、どこの国か たのですが、米国へ到着しないうちに途中のどこかで蒸発したの で洩らしました。そしてアダムスキーに会うために南アを出発し ラザーズとコンタクトしたととや静電気エンジンを作ったととま になってしまい、 から時期が来るまでは公開するなといわれていたのですが、 り質問については次のとおりです。 あったジョンソン博士が望遠鏡を月にむけてのぞいたところ、 七年にパローマー天文台にいた天文学者でアダムスキーの親友で めて高く(チベットの高地のような所)、空気もたいそう希薄で した。生命が主として存在するのは月の裏側です。月のリム(周 また宇宙飛行士が月面に着陸した側は単なる荒地で地面 パシル・ヴァン・デン・パーグ博士はどうなったか? それに耳を傾けず、発見した事柄を公表し、 (注=バーグは本誌第40号掲 「がきわ 月

助することができたのでしょうが、ついにだめになりました。 いうちにまた試みるつもりです。私は彼が連行された場所を知っ 適の時機があったのでしょう。そのときこそプラザーズが彼を援 不明)の或る『破壞要素』が原因です。彼の発見を洩らすのに最 私はバーグ博士の居所をつきとめようと努力してきました。近

いつか真相が判明するでしょう。 本GAPのみなさんによろしくお伝え下さい。(一九六九年

ているつもりですが、今もそこにいるかどうかはわかりません。

く礼拝されたがってはいません。宇宙の法則を応用して生きてい おり、この地球上の私たちの活動を確実に知っています。 彼は全 からです。アダムスキー氏はもはや私たちが知っているようなジ ようと思えばまず彼の兄弟姉妹になりなさい。万人はそうである ちの、自由。の源泉になりたいといっていました。今彼を礼拝し かって、礼拝の対象物にはなりたくない、地球のすべての子供た 団が設立されるととも望みませんでした。彼は生前何度も私にむ ョージ・アダムスキーではなく、別な惑星で高貴な青年となって を不滅 化することを望みませんでした。また自分の名を冠した財 アダムスキー氏はイエスや仏陀がそうなったようには自分の名

関して今日私が受け取った報告です。 次の記事は一九六九年七月二十日に月に着陸したアポロ11号に

「一九六九年九月二十九日にナショナル・プレティン誌が特別

事を洩らすことによって世界に大恐慌を起としたくないからである。 局は地上で受信した報告のテープ録音を秘密にしているという。ヒ 陸船から出て各種装置の設置を始めた。同誌によれば、米航空宇宙 記事を公開した。同年七月二十日に宇宙飛行士が月に清陸し、 帰ったとき地上の管制センターと交わした会話のテープ録音である。 オの実況中継放送等にも用いられている。その理由は、驚くべき物 オ・オーディオ・テープを検閲できるようにし、 こうして大衆に秘 家庭のテレビに電波が流されるまでの数分間モニターたちがヴィデ 密が洩れないようにしたのである。この方法はホットラインやラシ ューストンの飛行管制センターはディレイ・テープ技術を用いて、 次の会話はアームストロングとオルドリンのティームが司令船に

セ「それは何だったか? 一体何だったのだ? それを知りたいの \pm

(注□以下「セ」とあるのはセンター、「字」とあるのは字宙飛行

字「ノウ、ノウ、ただのフィールド・ディストーション・・・あ んたらは信じないだろう・・・・」

字「その赤ん坊共は巨大だった。たいした物だ」

セーなに?・・・なに?・・・なにが起こったのか? うしたんだ?」 君たちはど

字「彼らがそこにいるんだ。地面の下に・・・」 セ「何がいるんだい?・・・(とぎれる)アポロ11。とちらは地上 飛行管制センター」

字「了解。こちら三人共無事。訪問者(複数)を発見した」

字「そう、彼らは装置で測りながら長いあいだことに来ていたん

「いいか、月面に別な宇宙船がいるんだ! 一とちらセンタ 0 最後の言葉をくり返せ それらはクレー

「くり返せ、 くり返せ」

ーのフチのむこう側に列をなして並んでいる」

「軌道を精査して地球へ向かおう」

「もうフィルムがない・・・(とぎれる)円盤を三枚撮ったぞ ここからうまく撮れねえぞ。そちらセンターは何か聞いたか?」 「フィルム・・・・ちきしょう!」との罰あたりのカメラめ。 「第十五へ六二五の中に(注=この数字の意味不明)ォー をセット・・両手がひどく震えてできない・・・・」

リアのに関するその騒ぎは何だ?」 「とちらセンター。そちら進行中か。 ・フィルムをくもらせたかもしれない」 くり返せ。 進行中か?

「彼らがそとにいるんだ・・・・月面にいてわれわれを見つめ

報

あ

ているよ・・・・」

作ったにしても、 にセットした装置類を)引き抜くかもしれない」 「了解。反射鏡は適当の位置にある。だが何者があの宇宙船を 反射鏡・・・・反射鏡をセットしたんだろう?」 明日こちらへやって来て根とそぎこれらを(地

右の会話が一語 ような事件が起とっていたことが私にはわかっています。しかし 上の記録はあなた自身の感覚に従って判断して下さい。との 一語正確であるかどうかは断言できません。

> APのみなさんによろしくお伝え下さい。 かにまだ一般に知らされていない物事が沢山あるのです。日 (十二月一日付)

Ø 쒡 討

体に到達した、非常に意義深い年でした。五月

九六九年という年は、

人類が地球以外の天

沢 個

私達にとって最も関心のあったことは、 とれ

宙元年の名にふさわしい一年であったといえま

ビエト側の注目すべき動きが聞けなかったもの 度目の月旅行をやり終えてしまいました。ソ 面上におり立ち、さらに十一月に入ってから二 にはアームストロング飛行士が11号でついに月 にアポロ10号が月への往復飛行に成功し、

11号での初の月谱陸をピークに、まさに字

実が観測されているのかということを見過ごし に気をとられてしまって、そこでどのような事 意もしてはいませんでした。また当局でも、 聞記事を切り抜いておくくらいで、 やすいようです。私も10号11号頃は主立った新 ことでした。ややもすると、表面のはなやかさ け宇宙の真実が明かされて来るだろうかという らの輝かしい宇宙開発の成果によって、どれだ たいした注

月

~

何

カジ

導されなかったようであります。 力さしつかえる情報は流さなかったと見えて、表面的なことしか報

てまいりました。んに出るようになり、私達の目にもおやっと思わせるような事が出したので、はなやかな記事が少なくなり、観測データなどがひんぱったが12号頃になりますと、一般の興味もうすらいで来ておりま

ます。

12号が月から帰って来たこの年のくれ頃、GAPにもたらされたのでの状態を裏付ける多くの事が出ている事に気付いたのです。そしてってみましたところ、アダムスキー等によって知らされている月面おりましたので、さっそく集めたり新聞記事や雑誌などの整理をやおりましたので、さっそく集めたり新聞記事や雑誌などの整理をやおの表睛しいニュースがアメリカから日本GAP仲間で、どうも発表されている情報の中におかした所があるようだと言って来る人が表されている情報の中におかしたり、月の石が日本でも公開され、アポロ11号の三飛行士が来日したり、月の石が日本でも公開され、アポロ11号の三飛行士が来日したり、月の石が日本でも公開され、

アポロ10号 一ぬれた祐土のようだし

来るという事が試みられたわけであります。 月への旅行に際し、まず月のまわりをまわって無事地球へ帰って

おそらくは、あのアポロ8号が写した、湖と思われるツィオルコフス巻を撮影しておりますが、その一部が公けにされているだけです。の距離だと四、五階建のビルくらいのものを判別できるようです。の距離だと四、五階建のビルくらいのものを判別できるようです。月二十三日の早朝、月面から一五、二○○メートルの距離まで接近月二十三日の早朝、月面から一五、二○○メートルの距離まで接近

ません。スキーの近影以上の素晴しい写真がたくさん最られたにちがいあり

しかし、殺告されているだけでも、いくつかの興味深い事があり

といっています。水の存在については、後の方でも取り上げてみまったっています。水の存在については、「魚の方でも取り上げてみまった。といっている事から、水によってできたものもあると考えます。といっている事から、水によってできたものもあると考えます。また月の表面については、「鬼に昔あった水によってできた」とする説や「火因については、「月に昔あった水によってできた」とする説や「火因については、「月に昔あった水によってできた」とする説や「火因については、「月に苦あった水によってできた」とする説や「火肉・一般行士は「月がどんなかは、実際に見てみないとわからないよ」とかっています。水の存在については、後の方でも取り上げてみまった。

てであります。特に裏でそれらが見られたようです。 もうひとつ10号の 観測によって面白いのは、月面上の光点につい

照らされたみたいだ。とても弱い光だが・・・・」(アポロ) クレーターの内には、中心がボーッと光るものがある。放射線

「月の裏側の一部分はクリスマス・ツリーのように光っている」

入ると、それまで真黒に見えていた月面がポーッと光りだすというこれは、アポロが太陽光の中から明暗境界線を越えて暗い部分に

(ヤング)

何か別のものということになります。側にまわってしまえば絶対に地球は見えないはずですから、発光はるでしょうが、地球からの照り返しによるとも考えられますが、宴こととは別のもののようです。それは地球がどの位置にいたかによ

らせて見えることでしょう。
「クリスマス・ツリーのようにキラキラと街のく浮き上が何と美しい事だろう」と。そして遠のくにつれて、たくさんのイルょう。「クリスマス・ツリーのようにキラキラと街の明りが見えて、ちょうどこの字宙飛行士が発したのと同じ言葉が聞かれることでし地球上で、夜どこかの大都会の上をジェット機で飛んでみたら、

ある巨大なビルディングが建てられていると。た比較的広い地域、すなわち火口の内側に彼等の宇宙船の格納庫で腹に大小多くの都市があるとされています。そして、都市に隣接し、空飛ぶ円盤同乗記、などによれば、山から水を引いて、谷や山

然それらのいくつかを見ていることになります。 ですから、夜であった月の襄側を見たアポロの飛行士たちは、当

たい情報がたくさん出ておりました。ような白い頭の突出した富士山のような山など、もっと詳しく知りとのほか、火口壁の地層の発見、風化現象、まるで雪をかぶった

アポロ11号 一動物がいたら観察するヨー

に平和裏にやって来た。ことに地球より、人類初めて月に立つ」とせようというのか、着陸船の足に「われわれはすべての人類のためれら地球人が月面に降り立ったわけであります。だれのために読まそれからわずか二か月後に、地球人類の造った宇宙船で始めてわ

ドリンの三人が月に向かったのでした。うたった記念プレートをつけ、アームストロング、コリンズ、オル

ターとの交信として伝えられていました。 まず月へ行くまでの宇宙空間の様子が、ヒューストンの管制セン

が、やはり見えない・・・・」るので、『星01号』は見えない。六分儀をいろいろ操作してみたるので、『星01号』は見えない。六分儀をいろいろ操作してみた「アポロー空は黒いというより、パラ色に輝いているところもあ

星を手掛りに運航をする地点に到達するまでに約一時間かかる・・「ヒューストン―いま汚水を船外に飛ばしてしまっているから、

星との見分けはつくということかい?ヒューストン―それはたくさんの水滴がまだ船体についているが、と星を見分けることができる。動きがそれぞれ違うからね。アポロ―望遠鏡はあまり役に立たないね。六分儀を使えば、水縞

アポローそうだ・・・ロ

を識別できた。 アポローまた星が見えるようになり、こんどの飛行で初めて星座

きどきしか星が見えない。また星の散らばり具合はわからない・・」空は星でいっぱい。地球の夜と全く同じだ。しかしこちらではと

ています。この事が11号の飛行士達によっても、ほとんど宇宙空間彼は「宇宙空間が完全に暗黒なのに驚いた」という表現であらわし事でありましたが、これはアダムスキーがすでに体験している事で、写真に一枚も星が写っていないということから、私が推測していた字宙空間で星が見えないというのは、以前から彼等が持ち帰った

る程度のガス体が発生するものであるとブラザーズから教えられてに出歩いています。とれは、宇宙空間にある物体の表面には必ずあるのであります。彼は巨大な宇宙船の外に何の宇宙服も身に着けずた水が、水滴のままで何時間も船外に付着しているという事は理にた水が、水滴のままで何時間も船外に付着しているという事は理に出りましょう。実に不思議な事です。あるいは、真空の宇宙空間に出りましょう。までは星が見えないということが明らかになったわけであります。さては星が見えないということが明らかになったわけであります。さ

何かを含んでいると認めなければなりません。 いわゆる真空とされている宇宙は、われわれが考えている以上の

す。

るのが見える。いま窓ぎわで微粒子を見ているところだ・・・」「アポロー窓のまわりに何か小さな粒子のようなものが踊ってい

もあり、正体が何であるか、私たちには写真一枚ないのでわかりまれはソ連の天文学者コズイレフ博士やオランダ国立天文台等が発見して、警告していたものですが、これを飛行士達は見ております。して、警告していたものですが、これを飛行士達は見ております。して、警告していたものですが、これを飛行士達は見ております。して、警告していたものですが、これを飛行士達は見ております。この光は火山活動でシアンガスが出ているのかどうかこの距離ではらた。全く明るい地帯があるよ。リン光かどうか分らない・・・」この光は火山活動でシアンガスが出ているのかどうかつら距離ではこの光は火山活動でシアンガスが出ているとコズイレフ博士等は見える。クレーター地帯の中の一つのクレーターが全く明るい。・・・・全く明るい地帯があるよ。リン光かどうか分らない・・・」この光は火山活動でシアンガスが出ているとコズイレフ博士等はしていますが、10号の飛行士が見たクリスマスツリーのような光いっていますが、10号の飛行士が見たクリスマスツリーのような光いっていますが、10号の飛行士が見たクリスマスツリーのような光いっていますが、10号の飛行士が見たクリスマスツリーのような光いのでわかります。

地球側に面している地帯の中でも私たちの注目すべき所の一つです。せん。しかしこの辺は多くの発光現象などの変化が観測される所で、

さていよいよ月面着陸態勢に入る・・・・。

クだとされていますが、計器類は着陸放棄の警報を告げていたのでトロングはいっています。発表ではコンピューターのオーパーワー行なった全ての想定訓練で一度もなかった故障であったとアームスコンピューターの故障が起き、これはそれまで飛行士が模型装置でここで重大なトラブルが発生しました。高度約九千メートルから

一ズの何らかの連絡があったのではないでしょうか。
 一ズの何らかの連絡があったのではないでしょうか。
 一ズの何らかの連絡があったのではないでしょうか。
 最初の警報が伝えられたとき、月在住のブラザースが近づいて見守るということは当然の事と思われるからです。
 大体に到達せんとして、月に近づいていたとき、月在住のブラザースのメンバーの一技師が、この際、清陸レーダーの作動に関する乗めたに到達せんとして、月に近づいていたとき、月在住のブラザースの月らかの連絡があったのではないでしょうか。

て来たわけです。事実、着陸後ハッチを開くまでなど、だいぶ空白以外の宇宙機が見えることを報告していたというニュースが伝わっはり飛行士たちが、一般向けでない通信チャヌルで、近くに着陸船ᢇ薩陸の際のこのトラブルの推測を裏付けるかのように、その後や

得たいものです。の時間があります。われわれとしては何としてもこの事実の確証を

も、実に当りさわりのない内容のものでした。 以前と同様、非常に 漠然とした情報しかなく、後の分析結果の発表月面に降り立ってから、月表面がどのような状態であったかは、

間が長くなった」よりもとのまりも月面歩行に出るまでの時よりもむずかしくて、実際予定したよりも月面歩行に出るまでの時「イーグル=われわれは忙しかったし、特に圧力の変更では予想

けようと光学装置をのぞいている」ハッチを通して地球が見える。・・・オルドリンが何とか星を見つ「イーグル=ここからは(月面着陸後)星は見えない。だが頭上の

「船外の気温は寒いらしい。「気温はどりか」との地上の問合せげで非常に心地よかった」「・・・月面歩行活動は温度もかなり上がったが、宇宙服のおか

また、

土が湿った感じだというのは、

実際はどうなの

か

問題

くっつく様子は、いわば湿っている、という印象だった」で、宇宙飛行士は『おう』と声をふるわせて寒いことを示す」で、宇宙飛を着ていても、影の方がやはり涼しいような感じだ・・」の、宇宙服を着ていても、影の方がやはり涼しいような感じだ・・」の、宇宙飛行士は『おう』と声をふるわせて寒いことを示す」とっつく様子は、いわば湿っている、という印象だった」

だ月またでで。 たちが描写した情景を記録してある。月の地質についてそれ以上のたちが描写した情景を記録してある。月の地質についてそれ以上のヒューストン=湿った感じ、了解。こちらでは船外活動の前に君

イーグル=その考えは明日まで待ってもらえまいか・・・(?)

る一つの事が共通して隠されているのではないでしょうか。星が月面で見えないというものですが、この両者の記述の裏に、最初のは、船内気圧を『真空』にするのに手間取ったというの注目される通信内容を例記してみました。

あ

えるということです。 ではないでしょうか。エベレストくらいですと、昼間でも星が見れは大気のせいで、少なくともエベレスト山頂くらいの大気があるいっても朝方ですが、とにかく日が登っていると星が見えない。とに、船内気圧をそれと等しくするのに手間がかかり、また、昼間とすなわち、ある程度の大気の存在です。全くの真空ではないため

たのか発表されていないようです。次に気温が暑いとか寒いとかいっていますが、実際外は何度だっ

そ、どまかされているといわねばなりません。になるのはあたりまえで、そうした分析結果で満足している大衆と含まれた水素ガスもみな発散してしまい、全て味もそっけもない物地球へ土を持って来て、真空の中に入れてから調べても、土中にす。

ったのです。 な湿度になっていたという事実が、11号の場合も、12号のときもあだいたい、月物質をたくさん積んで帰って来るときの船内は相当

月面状態についての情報は、12号になるとがぜん豊富になって米アポロ12号 ――テレビカメラはなぜとわれたか―

8 なかったといわれますが、実質的な内容がよりたくさん公表された| ます。一般では11号の際の方が騒がれ、12号はあまり見向きもされ

してきたものだというふりに撤回されてしまいました。 特に、近くに以前月に行ったサーベイヤー3号が残っており、ましてきたものだというふうに撤回されてした。まさしくこれは大気の存在を前提としたものいうのがありました。まさしくこれは大気の存在を前提としたものいらのがありました。まさしくこれは大気の存在を前提としたものいらの発され、 地味ではあっても、 多彩を情報が流れた原因でした。 一で、この真の数値を知りたいものです。後に地球の百万分の一の大変が観測されたと発表されましたが、これでさえ多すぎると学者連 から反発され、 結局、 この数値は機械が狂って、 あやまった報告を から反発され、 活局、 この数値は機械が狂って、 またないました。

ベイヤー3号がありました。東南わずか一八〇メートルのところに二年七か月前に到着したサー東南わずか一八〇メートルのところに二年七か月前に到着したサーさて月に着陸したのはコンラッドとビーン飛行士で、諸陸地点の

おいがプンプンいたします。 おいがプンプンいたします。 おいがプンプンいたしまかした操作をして故障させてしまい、結局にとんど月面の様子は一般へは見せずに終ってしまい、三十分近くない中継を始めてじきにカメラを逆さまにしてしまい、三十分近くない中継を始めてじきにカメラを逆さまにしてしまい、三十分近くなりましたが、どうもおかした操作をして故障させてしまい、結局おりましたが、どうもおかした操作をして故障させてしまい、結局ないがプンプンいたします。

흅陸船からの通信内容を調べますと、このカメラの故障

のルにそによ。それは「風が吹いていた」のです。もちろん大気の存在が裏付けの裏には、大きな別の一つの理由があったように思われます。

「着陸船=ヒューストン、11号の時よりすどいポコリが舞い上がまず着陸してからの第一声がこれです。

あたりがほこりっぽいのは相当なものだったようです。っている。外はすばらしくきれいだ」

「コンラッド―歩くとホコリが舞い上がる」

うな会話がかわされています。 遺頬をおろして、その包葬してある紙を取ろうとしたとき、次のよ子を写したカラー写真が、その後発表されています。また、との装装遺類をおろして、はこんでいる足元でホコリが上がっている様

だ」「コンラッド=包装紙をとると、まるで風に吹き飛ばされるよう

「ビーン=いまポンと投げたら三百フィート(約九十メートル)

に「月面物質が舞い上がって表面にくっついたもの」なのです。ないさかんにこぼしていました。またこの月面の風に吹かれたホコリ で、アポロの科学観測担当学者が記者会見でいったようは、別のこん跡を残しております。それは例のサーベイヤーです。 これは本体が白く塗られ、台が水色をしていたのですが、飛行士がは、別のこん跡を残しております。それは例のサーベイヤーです。 これは一時太陽の光で焼け上がったのだろうと報導されましたが、と 1、別のこん跡を残しております。それは例のサーベイヤーです。 1、別のこん跡を残しております。それは例のサーベイヤーです。 1、別のこん跡を残しておが、単一といったもの」なのです。 2 本は、別のこれが、これが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、別のこれが、これが、別のこれが、これが、別のいのこれが、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のいのでは、別のでは

いったい何が考えられるでしょうか。とを意味します。いったい何が舞い上げたのか。真空だとすれば、か月の間に、何かの現象によって月の土ホコリが舞い上げられたこ事実は、このサーベイヤーが月におりてから、この時までの二年七事でとするとぬぐえて、下から地の色が出てきたからです。以上のぜならその表面には月の土と同色のこまかいホコリがついていて、

プルを採取中、次のような事をいっています。測されるわけです。コンラッドが月面活動の始めの方で、緊急サン実際は真空でなかったからこそ、風によって舞い上げられたと推

「何か音が聞こえる。なぜだろう」

です。 ょうか。そして、それは外気がなければ、もちろん聞とえないはずょうか。そして、それは外気がなければ、もちろん聞とえないでしょうな音とは何でしょう。不思藏な音は外からのものではないでしるはずですし、ヘルメットもかぶっているのですから、不思議がるいったい何の音だというのでしょう。レシーパーが耳に当っていいったい何の音だというのでしょう。レシーパーが耳に当ってい

すなわち大気が月表面にはあるという事になるのです。七十キロも離れた所で、そんなに遠くの音さえも伝えるだけの媒体、せんか! しかも、衝突した地点は、12号の観測装置のある所からわってきた波』とはいったい何でしょう。それは『音』ではありまを調べようというものだったのです。しかしこの場合の『空間を伝との衝突は、本来は月で一種の人口地護を起こして地殻構造など

いずれも大気の存在を裏付ける事になるわけです。 舞い上げられたホコリの件にせよ、空間を伝わって来た音にしろ、

かったのです。とにかく当局はこれを中継するわけにはいかなという人もいます。とにかく当局はこれを中継するわけにはいかなすぐ分ってしまうわけで、大問題となります。しかし、少しの間では打ち立てた星条旗がハタメイたりすれば、地上で見ている方にもは打ち立てた星条旗がハタメイたりすれば、地上で見ている方にもは打ち立てた星条旗が風でバタバタしたり、吹き飛んだり、あるいいずれにせよカメラの故障は、この風が原因だったよりです。機

次は、土の性質と水の存在が問題になります。

てバタバタ走るとホコリが上がるのです。
七、霜が溶け出して日のあたった表面だけかわいて、日蔭や土中にはまだ水分が残っているような状態であったと推測されます。飛行はまだ水分が残っているような状態であったと推測されます。飛行はまだ水分が残っている様子を後に映画で見ましたが、歩み進むとき上がったカカトには、土がベトベト付いて、ちょうど少し固めのどろんこの中を長グツで歩いているような状態であったと推測されます。飛行のどろんこの中を長グツで歩いているような状態であったと推測されます。

船外活動の最初の方でコンラッドは

・・もしかしたら、月面は固くないかもしれない。固さが感じられめらかで、ホコリもあまりない」状態でした。またやわらかく「・着陸船の近くはピーンがいっているように「・・・表面はとてもな「・・・何だか足が下にくっつくような感じだ」といっています。

本採取管を引き抜いても、まわりの土はあまり跡の穴の中にくずれ した。また粘土のようであったという事は「土に打ち込んだ地中標 ない。みぞを堀っても、まわりのカベはくずれなかった」という事 ないのだ。どこにでも転んでしまうような気がする」というようで

水流の跡を発見できます。通信の会話では またこの粘着性を水に原因を求めますと、地表にわずかばかりの

があった(ヒューストン=コンラッド、ビーンの記者会見)―」 つのタイプがあった。またクレーターの底に何か溶けたようなもの 所、サーベイヤー・クレーターのようなものと粒子の細かい所の三 い所、シャープ・クレーターのそばのように土の細かいやわらかい 中へ通じていた。月面には、筋や雨だれのような跡のある比較的固 いますが、状況は次のようなものでした。一着陸地点付近には巾一 ・五一三ミリ、高さ一・五ミリほどの細い筋が走り、クレーターの これはまさしく水の流れた跡と溶けたドロと推測されます。粒子 「月竜陸船から斜めに浅い堀のような跡が走っている」といって

まってしまっていたのかもしれません。 跡がほとんどくずれず残っていたからです。あるいは粘土が堅く固 いうようなものではないと思われます。それは、サーベイヤーの足 性が残るということになります。しかしここでは雨が大降りしたと の細かい所は水が早く地下に流れ、かわきやすく、固い土ほど粘膚

をいま引っぱるところだ。 サーベイヤーの部品の次の変化の状態が説明されます。 このように水と大気(酸素)の存在の可能性が考えられますと、 「コンラッド==サーベイヤー3号の電線の一部を切り取る。電線

ピーン --- よく切れた。

ţ コンラッド==材質がもろくなっていたのかな。簡単によく切れる 取れた・・・・」

で、地上で考えていたより楽に切り取ることができた--。

ヤーのアルミニウムの管や配電線の金属は結晶化が進んでいるよう

これは後の記者会見で次のように説明されています。|サーベイ

いう現象でしょうか。それは「サビ」なのです。 そこでこの結晶化によって、金属がもろくなるとはいったいどう

意外です。 タンや鉄の存在が騒がれて、この酸素の存在が無視されているのは ます。もちろん鉄やアルミとの酸化物としてです。実に、微量のチ いいます。また月の石の半分は酸素でできていることが判明してい 三〇度にもなる月面では、すぐ真空中に逃げ出してしまりものだと ンや硫黄のような揮発成分が発見されています。これらは昼間Cー ます。さらにその後報導されている情報によれば、岩石の中にはリ るわけであります。こうなってきますと、実にゆゆしき問題であり 大気や水があるからこそ、酸化現象としての「サビ」が考えられ

員等がいっています。 くさん(一気圧程度)ある所でできたと考えられること、月物質予 真空中ではないの意)で、ゆっくりと冷えて固まったことを示して 備研究チームのデビット・ウォーンズ博士や小沼直樹分析化学研究 いるといわれ、それは、水素、水、炭酸ガスなど揮発性の物質のた から一一〇〇度くらいの温度で固まり、熱的によく絶縁された中へ 岩石の形成過程も、ハワイのキョウエアの溶岩と似た一〇四〇度

その他、 種々の報告がなされていますが、今後の解明に期待した

度が高 Ĵ カではすでに岩石から水や酸素を作り出しているといい、また、月 朩 ていますが、 物質を積み込んで地球に帰るとき、 コ りん くなっていました。 います。 悩まされどおしだったのでした。 ح ただ月の岩石にも土にも水が全くなかったと報告さ れも当局の態度からしてあやしいのです。 帰途は月の水による湿気と乾いてただよ 11号の場合と同様、 船内の湿 アメリ

もや たし VC っ 月の たんだが、 ラ " 水 ۴ -7 IJ ―予想してはいたが、 今朝もあちこちふき掃除をしなければならなかっ が で漂っ て いて鼻がくすぐったくなったため、 船内の湿気は相当なものだ。 昨夜

は、そんなふうになるに違いありません。 水分を含んだ土がついている機械や標本を積み込んだ狭い船

室内

能性をも示すことになりましょう。 って 心がも 面の にあてられたものと思われます。 ~ 月 昼 ところによれ きます。 験では当然この微生物は月面空間に触れており、 チ ュ ! 1 面上における生物について調査されたかどうかですが、 常に肥えているということを意味すると共に、 なわれたのではないかということです。 たれると同時に、 夜を何度も通っているわけで、 ャ l の二年七か月放置された足に、 ブが取り付けてあり、 すなわち、 ば、 植物の成育を早めるということですが、 月面で生物の存在が可能と思われるからと との実験をした意図というものが問 また温度変化の激しいとされる月 これがい との結果がどうであっ 地球からバクテリヤを入 ま回収されてい 月の土が後に実験さ 5 月でのその可 わゆる外気 ます。こ 題に 実は た とれ か関

> いえば、 忘れ って、 いいわけがましく ものでもありません。 との宇宙問題をやっきになっておおい隠そうとしている姿以外の何 るようなのです。 止され、 最初から円盤をもみ消すために計画されたようなもので、 最近アメリカ空軍の円盤調査機関であるブルー・ たり、 と の リFOの存在を否定したといわれますが、 一般公開はさしつかえるというようなものが強調されて カメラ アポロシリーズでも、 トラブルを起こしていて、 がこわれたりしなかったことがありません。 月探査も当初から同様のことがいえるのであ 一回として、 特に重要な写真 撮影フィ これはだい ŋ ルムを置き 当局 計 必ず

早く受け入れられる日が来ることを・・・・。星、土星・・・・まだまだ先はあります。地上がその世界を一日も私達は一歩一歩それに近づいていっているのです。金星、火星、木とが必要とされるのでありましょう。事実が解明されるに伴ない、地球が宇宙に開国されるためには、地球人類がその資格を得るこ

タイプライターと 三 軽印 刷機材 の店 三 ツケケイ 事務機商社 ニッケイ 事務機商社 ニッケイ 事務機商社 ニッケイ 事務機商社 ニッケイ 事務機商社 一経営者金森利通氏の驚く べき親切のあり方を感じ、出 東京都台東区西浅草 2—25—7 電話(843)5731.5038

フ

ランスに着陸し

U

F O 軍

ジョエル・ムスナール

C。 できた人間が短時間姿を現わした光景の唯一の目撃者であったらしてきた人間が短時間姿を現わした光景の唯一の目撃者であったらし現在六十才になる一人の男が、十年前に一機の空飛ぶ円盤から出

こういうわけでティシー氏はがっちりした恐れを知らぬタイプの

うとは決して思わなかった。周囲のだれに体験を話しても信じてはりに正確に簡単に直接に述べることにある。そのことで有名になろ人でないことは全く明らかで、彼の望みは目撃した事件を見たとお力が相当なものであることも自明である。話をでっちあげるような彼の率直さと正直は自明であり、また自分を正確に表現する注意

の略称)の存在について新聞で読んだのである。 とだろうと確信し続けていた。何年ものあいだだれに頼ればよいかまじめな研究者が見つかれば、その不思議な体験は相手の興味を引きじめな研究者が見つかれば、その不思議な体験は相手の興味を引きじめな研究者が見つかれば、その不思議な体験は相手の興味を引きいめな研究者が見つかれば、その不思議な体験については四名の人へ能的に感じたので、実際は十年間にその体験については四名の人へ能的に感じたので、実際は十年間にその体験については四名の人へ

う)。

・一村の教会――が近くにあり、以前には定期市に用いられた大きな坂の広場をへだててパン製造所と離れている(目撃者のちょっとを坂の広場をへだててパン製造所と離れている(目撃者のちょっとな坂の広場をへだててパン製造所と離れている。日題の夜は毎夜のとおり村の高台近くにあるパン製をやっていた。問題の夜は毎夜のとおり村の高台近くにあるパン製をやっていた。問題の夜は毎夜のとおり村の高台近くにあるパン製をやっていた。問題の夜は毎夜のとおり村の高台近くにあるパン製をやっていた。問題の夜は毎夜のとおり村の高台近くにあるパン製をやっていた。明題の夜間に発生した。ティ事件は一九六○年の四月または五月上旬の夜間に発生した。ティ

事件

この物体の下に機台があったが、これを彼はアコーディオンのジャ上り坂で教会の下の所に、一個の巨大な物体が地上に立っていた。の中へ輝いた。数秒後に彼は外へ出た。ドアーはすでにあけてあっの中へ輝いた。数秒後に彼は外へ出た。ドアーはすでにあけてあっく。とともにあらゆる種類の色光が窓越しに製パン所納の二時頃だった。彼が生パンの仕事で動き続けていたとき、突

のを聞いた。するとハシゴが物体の右手から降ろされた。から出てくる強い騒音の中に或る金属的な音が鋭く割り込んでくるた姿勢で横たわっていたが――今や水平な姿勢になった。彼は物体び始めたので、その大きな物体は――最初は坂の地面と同じく傾いバラにたとえている。この物が左側に(坂の下り側を主にして)伸

方向に廻っていることを示すらしい。 たして彼の左ほおで感じられる。どうやら機体かその一部が反時計でくる。いわば強烈な風で、温かくて刺激の強い風であることが主てくる。いわば強烈な風で、温かくて刺激の強い風であることが主の方向へ歩き始めた。一方、一種のホンモノの竜巻が物体から吹い三段を降りて地面におり立ち、パン工場よりも目撃者の少し右より三段を降りて地面におり立ち、パン工場よりも目撃者の少し右より

小僧を捕えようと思ったんだ」
う強い意志を起こして侵入者の方へまっすぐに歩き始めた。「そのめげず――それは全く障害となったが――相手を捕えてやろうといとるかをきめるのに全くためらうことはなく、物体からの強風にもては数年前に新聞に多くの記事が載っていたのだ。どういう態度をて、直ちに空飛ぶ円盤に関する有名な話を思い出した。それについジャルマン・ティシーはすぐに大変な物を見ていることに気づい

怪人の様子

トなどを身に漕けている。怪人の右端にはまがった剣のサヤの如き前側でボタンのかかった一種の薄緑色のジャケツ、同色のヘルメッきな身なりだった。小さな長グツ、ぴったりと身についたズボン、彼が小人だというその生きものは、よく均整がとれて、実際すて

方へ前進を続けた。
おかつり下がっていて、そのツカははっきりと見える。この細部は物がつり下がっていて、そのツカははっきり安心はできない――だが地球の宇宙飛行士だってほとんどみな軍人ではないか)ティシー氏地球の宇宙飛行士だってほとんどみな軍人ではないか)ティシー氏がを全然おびやかしはせず、小人の方へ進み続けた。ところが小人がを全然おびやかしはせず、小人の方へ進み続けた。ところが小人がなるのに、今度はこの光線で目がくらみ、両肺がほとんどマヒしたとく呼吸困難になった。すでに左ほおを打つ熱い風でめまいがしてように感じるのだ。思わず顔に両手をあてて頭を下げたまま怪人のように感じるのだ。思わず顔に両手をあてて頭を下げたまま怪人のように感じるのだ。思わず顔に両手をあてて頭を下げたまま怪人のように感じるのだ。思わず顔に両手をあてて頭を下げたまま怪人のは歌ので、今度はといっていて、そのツカははっきりと見える。この細部は物がつり下がっていて、そのツカははっきりと見える。この細部は

を物体群と合流して、その後全機が一緒に飛び去るのを見た。 ・ 大景に相手は恐れをなしたのだろうか。とにかく怪人は廻れ右をしたのときパン屋が顔や両腕を紛だらけにしてまっすぐに前進するとパン屋が顔や両腕を紛だらけにしてまっすぐに前進するこのときパン屋が顔や両腕を紛だらけにしてまっすぐに前進するこのときパン屋が顔や両腕を紛だらけにしてまっすぐに前進する

物体

転コマに似ていて、巾は十ないし十五メートル、高さは五メートルティシー氏の話は全く正確である。物体の全体的な形は子供の回

によって機体の周囲に多彩の光の波ができていた。である。一列は黄色で、次が赤、三列目は青だ。この光る管の配列さで、ネオン管に似て、互いに長さと等しい距離をおいて取り付けさで、ネオン管に似て、互いに長さと等しい距離をおいて取り付けさで、ネオン管に似て、互いに長さと等しい距離をおいて取り付けさで、ネオン管に似て、互いに長さと等しい距離をおいて取り付けさで、ネオン管に似て、互いに長さと等しい距離をおいて取り付ける。上半分は透明な面で成っているらしく、急回転しており、そのた。上半分は透明な面で成っているらしく、急回転しており、そのによって機体の周囲に多彩の光の波ができていた。

怪人の外観

まかった。線のために妨げられて、顔の細部またはその表情を見ることはでき線のために妨げられて、顔の細部またはその表情を見ることはでき小人の顔は人間の顔付きをしていたが、機体から出る強い風と光

も――(一九五四年のユジヴァリ氏の目撃談)。その他、宇宙人がしたオドロキだ。ただしその意味ですでに一つの報告があるけれども、拳銃を携帯する円盤パイロットが出現するとしたら、ちょっと楽ごう』に符合する鉄砲を見なかったことに驚きさえした。もっと楽こう』に符合する鉄砲を見なかったことに驚きさえした。もっとのようだという。小さな怪人は表面に四つの箱のついたベルトをしのようだという。小さな怪人は表面に四つの箱のついたベルトをしい人のヘルメットはツバとアゴヒモの付いた消防士のヘルメット

る。だが目輩者が考えるようにほんとに剣だったのだろうか?(今は、怪人の右腰につられていた、ツカ付きのまがった剣のサヤであ小人に関するティシー氏の話で最も奇怪かつ可愛らしくない部分

ベルト上に小箱を着けていたと数例が報じている。

は正装の軍服を着ていたのだろうか?飾り物だというかもしれない――価値を持っている。あるいは小人持たないものだが、それでもまだ世界中の軍隊で象徴的な――人は太い銃が役に立たないのと同様に、剣はもはやさほどの軍事価値を日われわれにとってコン棒や古代の投石器や十七、八世紀の筒先の日われわれにとってコン棒や古代の投石器や十七、八世紀の筒先の

注釈

支際に 剣だったとしても、 奇怪な小人軍人はティシー氏の接近から起のではない。 彼は両手で顔を防ぎ、歩き続けることら自分を守るために それを使用する必要はなかった(ティシー氏の地球人の接近を妨げるには、右手に持っているチューブを用いれの地球人の接近を妨げるには、右手に持っているチューブを用いれの地球人の接近を妨げるには、右手に持っているチューブを用いれる地球人の接近を妨げるには、右手に持っているチューブを用いれる地球人の接近を妨げるには、右手に持っているチューブを用いれると関係があるようだ。 しんのではない。 ないはない。 ないはないった (ティシー氏の接近からを守るたからだ。

あ●た。 の●た。 の●との事件の或る特徴(複数)は他の円盛目繋を思い出させる。物 のの事件の或る特徴(複数)は他の円盛目繋を思い出させる。物 のの事件の或る特徴(複数)は他の円盛目繋を思い出させる。物

騒音や光線があったにもかかわらず、着陸の目撃者がただ一人し

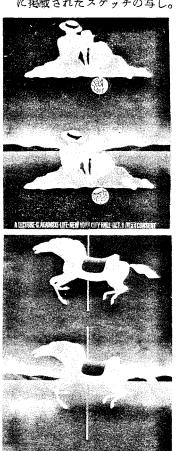
ること等々。 かなかったという事実を語るに足る短時間 同県中で人口の希導な地帯であるとと。 $\widehat{\Xi}$ 夜の遅い 時刻であ 四分間) それに

思われたという。 葉を用いて話し終えた。だがその音は切れ目のない連続的なものに 惑したが、列車が出発するときに出る音に似た「ゴーッ」という言 な意見を出すのはむつかしい。 ティシー氏はそれを説明するのに困 物体が発した騒音に関しては――地上にいたときでさえ――的確

内温夫の入選作

ことができなかったことだ。 はきわめて健康である。ただ一つ残念なのは『小人野郎を捕える』 た。そとの草がただわずかにつぶれているだけだった。 翌朝彼は着陸地点を検査したが、 は奇怪な体験のために不快感をもよおすことはなかった。現在 重要なシルシは見あたらなかっ

ンスの円盤誌



円を(いずれか指定の上)同封(切手は不可編者宛申込まれたい。 に満ちている。このカラー写真を御希望の方は一枚につき送料共百 カラーでないのが残念だが、原画はすはらしい色彩で圧倒的な迫力 に会うとのとと、いずれその報告類を本誌に掲載するので期待され 写真は上が「生命の科学」、「下が「死と空間を超えて」で、 るものである。在カ中には米国へも行き、 った。本会はあげてその前途を祝福し、両君の御成功を祈 詩人古山晴久君と共にカナダへ美術修業に旅立つことにな たため、 術界でも高く評価されており、 ダムスキー講演ポスター「生命の科学」「死と空間を超え ルソーを思わせる幻想と神秘感に満ちた作風は本邦商築美 て」の二点を出品し、 商業美術家の宮内温夫は、 昨年秋の号外でお知らせしたとおり、 同君は毎年同展に入選する若手ホープで、アンリ 本年四月二十四日羽田発にて同じく日本GAPの 前者が準入選、 昨年度日宣美展にジョージ・ア 外人画商なども注目し始め 後者が入選の栄に輝 日本GAP幹部で GAPの要人達

ルーマニアに出現した円盤

フローリン・ゲオルギータ

かもしれない。だがまず事実、事実。 その事件というのは一九六八年の夏の終りに近たUFOのそれである。その写真類の分析によりきわめる。まず始めに、この写真類の分析によりきわめる。まず始めに、この写真類の分析によりきわめる。まず始めに、この写真類の分析によりきわめる。まず始めに、この写真類の分析によりきわめる。まず始めに、この写真類はこれまでにたUFOのそれである。その写真類はこれまでにたりがらである。

事件の詳知

で大きな喜びを与えていた。 に大きな喜びを与えていた。 で大きな喜びを与えていた。 で大きな喜びを与えている。 で大きな喜びを与えているので、 で大きな喜びを与えていた。 で大きな喜びを与えていた。

> で森の上空を飛んでいるのだ。 正午頃人通りの多いルートから遠く離れた花一はいの開拓地に落 正午頃人通りの多いルートから遠く離れた花一はいの開拓地に落 正午頃人通りの多いルートから遠く離れた花一はいの開拓地に落

くわえてきたゥン蓄を更に深めるのに役立つと思真(複数)が、との画期的な問題に関して多年たの一つを述べたいと思う。というのはその記録写

私はことに未知の飛行体のすばらしい目撃事件

たりして、十日後にはもうフィルムを現像した。だが実際には現像とはもう考えなかった。フィルムがなくなるまで他の写真を撮っのを見ていた二分間に与えられた強い印象は次第に消えてしまった。がが物体が去ってしまうと、食事の準備やそれにって立っていた。だが物体が去ってしまうと、食事の準備やそれに一同全員はわけのわからぬ物体の奇妙な運動を見つめながらだま

で、八月二十六日にやっとクルジュへ帰ってきた。るのは私だけである。当時私は二ヵ月間ブカレストへ行っていたのかわからなかったからだ。彼の友人中で目撃物に関して教えてやれを急いではいなかった。嘲笑を恐れて、写真をどう処置すればよい

が、おそろしく重大な物であることに気づいた。 こうして九月一日後に写真の最初の印画を見ることができたのだ

調査

四十五才になるB・Bは少々自己中心型だが、仲間にはまじめなの大いことがわかっていた。また新聞にたまに出るUFO記事なども彼には関心の対象にないをとなびを私はたまたま知っていたし、クルジュには彼が参考にが彼に興味を起こさせないこと、UFOすべてを疑惑の目で見ていたことなどを私はたまたま知っていたし、クルジュには彼が参考にしそうなUFO関係は純然たる職業上のものである。UFO問題建設会社の技師だ。この地位にあるあいだ私はほぼ二年間彼を知っ正直な人間で通っている。若い頃は将校だったが、今はクルジュの正直な人間で通っていた。

は興味のない女性であることもわかっていた。・Mも、仲間のあいだではまじめな人でとおっているし、UFOに三十四才で、或る家庭のお手伝いをしているガールフレンドの2

──戸外の温度は約℃三十六度だった。り、町の西南西の方向にあたる。──写真が撮られた開拓地はクルジュから直線距離で四十七キロあ私は目撃者たちに質問を始めて、次のような詳細を更に知った。

体が高空に消えたときに見えただけだった。――空は完全に晴れていたが、非常な高空に奇妙なモヤがあり、物――

F級の中間になる)。DINは露光指数で17はASA40に相当し、国産フィルムのS級とは普通のものでDIN17(注=このカメラはソ連製35ミリ中級品。――カメラはFBD――型、インタースター28レンズ付。フィルム

空に来たときに目撃されたのである。――物体が到着した瞬間にはだれもそれを見なかった。開拓地の上

と思われる高さにあった。 ――目縁されたとき、地平線に八十五度の角度で、

約六百メートル

はやや下方の地面に向かっていた。――スだった。次に物体がコースを逆に変えたとき、その移動コース―――最初の一運動の飛行コースは北東から南西にかけてで、直線コ

飛行コースに対して物体自体の姿勢を変え続けた。――飛行中位置を変えるときに水平になったり垂直になったりして

も全然似ていなかった」ジェット機に至るまで飛んでいる物をずいぶん見たが、そのどれにジェット機に至るまで飛んでいる物をずいぶん見たが、そのどれに音はなかった。常に姿勢と方向を変えた。私はこれまでに気球からこれは数種類の新聞に掲載された。「物体は金属的な輝きを帯びて、---その外観に関してはB・Bが私にくれた筆記説明文を再録する。

-物体の径は三十メートル以上あるように思われた。

ところへまずフィルムと印画を持参した。研究室でそれらを検査しめる必要があるので、クルジュで最もよく知られている写真記者の以上のすべてはきわめて興味深いが、インチキでないことを確か

スケッチ

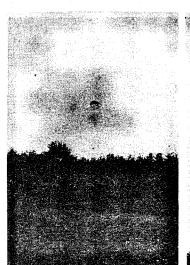
や、撮影するのにあわてていたことを示すものである。
 や、撮影するのにあわてていたことを示すものである。
 や、撮影するのにあわてていたことを示すものである。
 次にブカレストの高名な専門家でルーマニア・ナショナル・プレストの写真には物体はほとんど端にあり、そのことは彼の興奮状態なまり、エイジェンシーの写真記者に相談した。本人は他の用件でたまえ・エイジェンシーの写真記者に相談した。本人は他の用件でたまえ・エイジェンシーの写真記者に相談した。本人は他の用件でたまえ・エイジェンシーの写真記者に相談した。本人は他の用件でたまえ・エイジェンシーの写真記者に相談した。本人は他の用件でたまえ・エイジェンシーの写真記者に相談した。

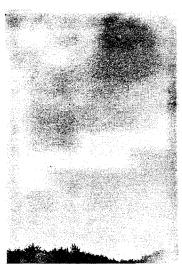
クの跡は発見できなかった。すると最新式の方法を用いて同所の技術陣に分析させたが、トリッ私はフィルムについてクルジュの或る公立研究所にも尋ねてみた。

できる。掲載のスケッチは各写真を重ね焼きして簡単に作るととが非常に大きな物であることが写真からはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるとととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるとととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるとととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるとととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるとととはっきりと示していた。しかもそのすべてが同一物体であるととがはっきりと示していた。これに表して簡単に作るととが非常に大きな物であることが写真からはった。まず始めに、って各種の線の動きの妥当性を見つけ出そうと思った。まず始めに、って各種の線の動きの妥当性を見つけ出そうと思った。まず始めに、って各種の線の動きの妥当性を見つけ出そうと思った。まず始めに、ったもので

真 2

写真 3





は正しいようだ。 真中の同じ樹木の存在は 憤りは実際には最少限であることがわかる。最後に、 判断することもできる。直径約三十メートルというE・B 細部でわかるのだ! ととを明確に示している。 が保管したまま公開されない)、 また、 樹木、 枝、 種々の点における幾何学的な細部により、との見 花などの大きさを見れば物体の巨大なサイズを (この四枚目は特殊な性質のために臣・B つまり上方へ消えてゆく物体の最後的な フィルムの写真がホンモノである 第四枚目の写 の見積り のだ。

真類との試験的な比較が、 写真に驚くほどよく似ている。同じ げているが、それらはこのクルジュ 重大問題』は、 属的構造らしさ、 型式による構造、 撮られた一UFOの三枚の写真を掲 て最後的な証明であった。フランク ァリフォルニアのサンタアナ付近で ・エドワーズの著書、空飛ぶ円盤― レを置いて(サンタアナ写真は八月 ようだ。こうして大体に三年間のズ ただ大きさだけははっきりと異なる 十八日に写された)、互いに一万六 三日に撮られ、クルジュ写真は八月 この写真類と他の類似のリド〇写 一九六五年八月にケ 同じ技術的特徴等。 同じ比率、 私にとっ 同じ金

アナ写真の撮影者)の写した写真について何の知識も持たなかったいたという可能性は全くない。実際二番目の男は最初の男(サンタのである。この二人が互いに知り合っていたとか、互いに交際してて、二人の男が諸似した不思議なUFOの姿をフィルム上に捕えたて、二人の男が諸似した不思議なUFOの姿をフィルム上に捕えた

会の発行した例の否定的な『コンドン報告』の筆者たちは、とのク(筆者ゲオルギータ注=私がきわめて残念なのは、コンドン委員

長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」)) 長C・ボウエン注=なにが変えるものか!>」))

った。空軍か政府の政略的な陰謀によるとも考えられるが真相は不という報告を出して、世界の円盤研究家たちから逆に嘲笑の的になり大な資金と労力を費して調査研究した結果、UFO 調査団で、ぼれたコロラド大学のコンドン博士を中心とするUFO 調査団で、ぼ(編者注=コンドン委員会というのは米空軍の委嘱により編成さ

いないととを、ととで明確にしたい)。も写真に対する物質的な報酬は全然求めなかったし、受け取ってもた(との件におけるわれわれのまじめさを示すために、E・Bも私証拠は絶対的なので、私は写真類を新聞社へ送って掲載を依頼し

つけ加えておくのも面白いだろう。

のス・Mとのインタヴューが次の日の夕方そのテレビで放映された観察力について一記者が行なった心理テストの記事を掲げたとルーマニアのテレビ網が拡大写真を放映した。翌日には或るテレビペてとクルジュの二種類の新聞が写真を掲載した。同日夕方には全、飲密な分析の後、一九六八年九月十九日付のブカレストの新聞す

これは明らかに問題にならないものである。に掲載された二、三の記事で、私はこの憶測の弱さを指摘したが、体はたぶん気象観測気球だろうという見解を発表した。大きな新聞もいた。こうして、写真を見ないで地元の天文台長は、写真中の物また例によって研究態度が主観的で、事件の事実を傍証しない人々もかし、もちろん、いつものとおり敵意を示す人々もいた。だが

写真の分析

か、という問題である。

れとしてはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示私としてはクルジュの一連の写真は、記録的な面との一連の写真は、記録的な面と、それらが示私としてはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示してはクルジュの一連の写真は、記録的な面と、それらが示している。

写真の公開

れば、重要な情報が得られるだろう。目撃、あらゆる写真、あらゆる物的証拠のもっと徹底的な分析をや目をととろとれらの問題には目下解答が見出せないが、あらゆる

日子である。 は、写真1(表紙写真)はすでによく知られている一つの事柄を確 さてこのクルジュ写真に何が発見できたか?

この円盤にもケァリフォルニア円盤(サンタアナのもの)にも、部表面の或る種の利用をしているのが見られたという事件類である。の事件を思い出させるのに役立つというものだ――円盤の乗員が上なふくらみがあるのだ。この非対称デザインの目的が何なのかを想象するのは困難だが、フランク・エドワーズが著書で述べた数種類像するのは困難だが、フランク・エドワーズが著書で述べた数種類なからのは困難だが、フランク・エドワーズが著書で述べた数種類の事件を思い出させるのに役立つというものだ――それは平たい。よく見ると映する。

接置を持っているのだろうか? 当然との問題はもっと徹底的な調らかの観察装置がなければならぬ。写真中には見えない何か特殊ならかの観察装置がなければならぬ。写真中には見えない何か特殊なとしないのだろうか? たが内部に人間の存在を認めるとすれば、何る遠隔操縦ではないという推論に至る。内部の広い空間を使用するる遠隔操縦ではないという推論に至る。内部の広い空間を使用するとしないのだろうか? しかし物体のかなりな大きさを見れば単なとしないのだろうか? 当然との問題はもっと徹底的な調像側接近の可能性に関する重要な問題を提起する。この特殊な型の側面に舷窓が見えなかったという事実は、内部から外部への透視的側面に舷窓が見えなかったという事実は、内部から外部への透視的

のような種々の異なる様相に引かれた。
(B) しかし写真2は最も重要な問題を提起する。まず私の注意は次査と、加りるにもっと詳細な写真資料及び直接目撃等を必要とする。

はいない。数秒間に、空気の状態もカメラの操作に関する状態も全然変化してな難明に出ているのだ。しかも最初の写真が撮られてから経過したいることに気づく。一方写真中の他の細部(樹木、花等)はきわめー――第一に最初の写真と比較すると、物体の形はややぼんやりして――第一に最初の写真と比較すると、物体の形はややぼんやりして

のである。いる影と比較するとほとんど不合理のように思われることに気づくいる影と比較するとほとんど不合理のように思われることに気づく部の構造上の細部によってついているらしい影は、写真1にできて――次に、物体の像は明るく輝いていて、しかも同時に、フチの上

したかと思うと急上昇した様子を見ることができた。が次第に強く輝きながら空中でコースを逆転して、ついに突然加速のようにいう。二度目の写真を撮る準備をしていたとき、彼は物体こうした変化について私が後に発した質問類に答えてR・Bは次

後、二人の専門家のいずれも物体の模型を作った。との模型に対しはフィルム全体と個々の写真とをスクリーン上に映写した。討論のの大学講師に別個に訴えた。二人共自然光の問題に関する専門家での大学講師に別個に訴えた。二人共自然光の問題に関する専門家での大学講師に別個に訴えた。二人共自然光の問題に関する専門家でか?

て彼らは側面の光源

(ととでは日光の一部)

から光をあてて検査し

で輝いたのではないという事実である!はたしかに輝いていたが、それ自体が輝いたのであって、外部の光た。別々に出た二人の結論は一致していた。すなわち写真2の物体

くのか? との現象の目的は何なのか? 輝を帯びるようになり、しかも夏の日の白昼に太陽光よりも強く輝である。いったいどのようにしてかくも巨大な金属の表面が突然光のようにしてかくも巨大な金属の表面が突然光

生するときに目立つのだろうか?

生するときに目立つのだろうか?

本れが光輝現象が発えるようになった構造上の細部なのだろうか?

物体が作られていまっための、瞬間的な結果にすぎないのだろうか?

それとも写角度のための、瞬間的な結果にすぎないのだろうか?

それとも写りた空中を物体が逆転したための、そしてフチにあたる太陽光線の単に空中を物体が逆転したための、そしてフチにあたる太陽光線の単に空中を物体が逆転したための、そしてフチにあたる太陽光線の単に空中を物体が逆転したための、それはフチの上部に見える影もかなりの問題を提起する。それはしかしフチの上部に見える影もかなりの問題を提起する。

際にはこの光輝の奇妙な放射の目的とを知らねばならない。もっと現実的な憶測に到達するためには、まず光源と、それに実

してあげられてきた。

いなの実在を否定するために多くの人が利用してきた特徴の一つとは、一方ではほとんどいつも科学的には不可能事としてこの奇妙なは、一方ではほとんどいつも科学的には不可能事としてこの奇妙なは、一方ではほとんど問題にしていないのだが――

みならず、物体の外形輪郭が依然として見える瞬間にカメラに捕え

る価値のある問題である。

な事件はいつでもそうだが――空中の単なる光点として出現するの

拠物件となるものである。というのはここではこの現象は――こん

との見地からして、 クルジュで撮られた写真は最重要な一連の証

して早計に却下する可能性をしりぞけるものである。られたからだ。この事実は主観的な解釈の可能性またはイッチキと

将来の機会に再度取り上げられるにまかせよう。ために、その問題点の二、三をあげるにとどめて、全体的な論議はなるようにも思われる。しかし読者をうんざりさせないようにするけており、これは未来の新しい航空技術のために基本的なテーマとの()さほど見ものではない写真るは、それでも重要な問題を投げか

い。 は、ときとして機体を垂直にする必要もあることを忘れてはならなば、ときとして機体を垂直にする必要もあることを忘れてはならなばしば飛行家は――特に戦闘機のパイロットは――有利となる場合リFOにも水平な姿勢で飛ぶものだという概念に慣れているが、しる。これは納得のゆくことだろうか? われわれは実際航空機にもまずこの写真るで目につくのは、物体のほとんど垂直な姿勢であまずこの写真るで目につくのは、物体のほとんど垂直な姿勢であ

ことでもないのだろう。 ことでもないのだろう。 ことでもないのだろう。 ことでもないのだろう。 たしかにこのような姿勢は機体内の乗員れた写真を私は思い出す。 たしかにこのような姿勢は機体内の乗員されてフランク・エドワーズの著書 "現代の空飛ぶ円盤" に掲載さされてフランク・エドワーズの著書 "現代の空飛ぶ円盤" に掲載さしかも無数のUFO目壁のなかに、UFOが垂直の姿勢で動きましかも無数のUFO目壁のなかに、UFOが垂直の姿勢で動きま

の色と共に――ドームよりも強く輝いている――後日再び取り上げ困難だが――影と何かの関係があるのか?.この細部の分析はフチ像の上部に奇妙なわん曲部が見えるのだ。これは写真2の――説明だが写真3は興味深い一つの細部を示している。つまりUF0の

h=m+n

m=0.35/2

d = 0.1 H

検査と確証の後に確立された写真フィルムの真実性は、 の科学の基本的な概念に対して遺憾な態度を示すものだ。 を否的するかまたは無視しようとする試みのすべてが、現代と未来 変な科学的重要性 撮られた不思 護 に関して重大な証拠となるものである。 ルーマニア、ク を物体の三枚の写真は、UFOの実在とその大 ルジュの町の郊外のバシウ森林上 UFO問題 徹底的

となることを望む。 な研究によって更に増大するであろう。 以上三枚の写真の提供は、 もっと徹底的に研究しようとする人々にとって生きた刺激 との写真類の記録的重要性は正しい科学技術 その中に含まれる多量の資料の或る 的 面

j=20°40' H=Dsingu $t_{gd} = \frac{r_e}{p} = 0.3$ =1000 x 0,318 = 3/8 m H2 = 1200 x 0. 318 = 382M d, = 32 m d2= 38 m d1.2

& \$ 0.65 gr

パ シ 0)

テ

高 原 光 夫

憶障害、 学講座」の中で触れています。 起こったのを覚えています。との点はアダムスキー氏が「生命の科 い考えを導入するとその瞬間、 くありましたが、 合が多いようです。 回目は短時間の言語障害、二回目は短時間気絶後二時間程度の記 テ 、 パ 三回目は裂傷です。 シーの能力の発現は頭部を中心としたケガ 最近はほとんどありません。 私自身年少の頃、 以後その個所が何となく痛むことが 頭に一撃くらったような感じがよく 三回頭頂部を打撲しました。 ただ小さい頃、新し が原因となる場

私は心が非常に落ち着いていて、 がその通りに話すのです。 いることを言わず、 話ではそれは単なる慣れだと言われます。 などが寸断なく交され、 くより早くその内容がわかってしまうので、 の言葉通りにわかるようになったのです。 親密に交際していると次第に相手が口を開く寸前に何を言うかがそ **うかはわかりません。その自覚に五年以上のギ** しかしこれらのショックがもとで私にテレ能力が現われ 自覚し始めたのは中学時代です。 現在も行なっていますが、 ただ強烈にその思念を友人に向けると、その人 注意深い友人を驚かせました。ことまでの おもしろくなった私はよくこれを試みま 次の瞬間に起こることが印象でわ 割合成果があるのです。 ある教師及び同級生と非常に 授業中例の教師が口をき しかし今度は私が思って それに応じたジョー ャップがあるからで たの

程広くはないので到抵髙橋氏には至りませんが。
レーダーマンの存在がわかります。とは言っても、私の関心はそれ生きしているのがわかります。ですから私には髙橋忠春氏のような長い時は何年前にも及ぶ印象がありました。こんな時は自分が生きまざまな景色が目に入ってくる、そんな感じです。短い時は直前、かりました。ちょうど走る車窓からすぐ外を見ていると矢継早にさかりました。ちょうど走る車窓からすぐ外を見ていると矢継早にさ

の理解力の乏しさに失望していたのです。
いわらず、生徒会活動を通じて現教育制度や、教師、親、おとな達かわらず、生徒会活動を通じて現教育制度や、教師、親、おとな達してしまい、この能力の応用など忘れてしまいました。この時期にところで中学時代なかばから高校時代の末までは心はひどく消沈

間もなくテレパシーという共通名称を知ったのです。 とその印象は消えましたが、その時は手を硬く握ってこらえていたのに気づきました。この頃友人を通じて円盤に興味を持ち始め、たのに気づきませんが、バイクに乗って来いという印象です。私は回くらい同様の印象を受けました。また別のある昼下り、勉強しようと机に向かったとたん、何か強烈な思念が私を引きつけました。 もとその印象は消えましたが、その時は手を硬く握ってこらえていたのに気づきませんが、バイクに乗って来いという印象です。私は回くらい同様の印象を受けました。また別のある昼下り、勉強しよりと机に向かったとたん、何か強烈な思念が私を引きつけました。 もとその印象は消えましたが、その時は手を硬く握ってこらえていたのに気づきました。この頃友人を通じて円盤に興味を持ち始め、 本の代景が中に該当者を見出そうとしましたが、間もなくテレパシーという共通名称を知ったのです。 本の後、高校時代の末におもしろい体験をしました。ある時、帰 その後、高校時代の末におもしろい体験をしました。ある時、帰

大学入学後もずっと興味を持ち続けてきましたが、やはり時たま

予定二秒くらい前にその印象を受け、スピードを落として安全措置 込んだとたん、心にムカデの姿が写りました。まるでスライド映写 いたかもしれません。 向車線からいきなり追い越しを始めた大型トラックと正面衝突して 別の例では、先日総会席上で話しましたが、バイク運転中事故発生 でも同様の経験をしましたが、関心がないと感受できません。また を行なったように。トイレ、風呂場等でも経験しています。こんな の人の髪型、衣類ははじめて見たものです。もうひとつは、コン虫 りでした。会う前は相互に十六km以上離れていました。しかもそ テレ体験をしていますので、おもしろい例を三つあげます。ひとつ をとったので未然に防げました。もしその印象を無視していたら対 時は探してみると必ず柱のすみにへばりついていたりします。クモ があるので日常特に注意を払っています。ある時、自室に足を踏み ン虫を見かけます。そのうちムカデは直接触れるとケガをすること その人の上半身がカラーで私の心に投影され、会ってみるとその通 の視線を感じたことです。私の家は山のすそ野にあるので多くのコ はある人と会う前に相手がどんな服装で来るのかなと思った瞬間!

けていると多少高音部へ移って行くように感じています。となうだと言えばあたっていると思います。この音に関心を払い続います。どんな音かと問われても表現に困るのですが、強い発色雑音です。どんな音かと問われても表現に困るのですが、強い発色雑音には頭が鳴っているのがわかります。この現象は小さい頃からあり集中させているのが原因のようです。しかし、心が静まっている時集中させていると問われても表現に困るのですが、強い発色雑音のようだと言えばあたっていると思います。との現象は小さい頃からあり集中させていると多少高音部へ移って行くように感じています。

ので苦心しています。で、自分の心をも含めて油断がならず、この辺が瞳壁になりやすいくなるほどわがままを通し、外部の利を横取りするのが通例のようて最良とは思っていますが、私の経験領域では年令に関係なく親しさて、対人関係ではなるべく誰とでも親しくするのが自他にとっ

ないのが原因のようです。られない人が多いのは、ア氏の言ったように心の用い方を学んでいられない人が多いのは、ア氏の言ったように心の用い方を学んでいした。極端な優越感や劣等感も障害になりますが、それでいて抜け心の持ち方ではやはりパランスが必要なのがわかるようになりま

心が非常に広く、穏やかな性質の持主です。一方、心の均整のとれた人も時々発見します。とのような人は関

で知らせてゆくつもりでいます。 大芸何らかの証拠を欲しているので、私個人的には印画紙訓練など時おり公開しているので次第によくなると思います。未経験の人はも最近は各国の大学、研究所等でも本格的研究に乗り出していて、うっかり口にすると馬鹿扱いされるのが関の山だったからです。で以上の事柄のほとんどは未発表のものです。周囲の事情からして

の生徒に「生命の科学」「死と空間を超えて」な会 居 人の生徒と私でアダムスキーの著書を中心に読書 人が 人が 人の生徒と私でアダムスキーの著書を中心に読書 人が しゅい はい 例会の時に少しお話いたしました。十数 人が

てくる生徒に対してだけ、いろいろ相手になってやっています。したう生徒も出てくるようになりました。現在は自ら積極的に求めたま会合を開くようになったわけです。時には放課後一人で私のとい」ということで私も生徒といっしょに勉強するという立場で、時どを取り寄せてやったりしましたが、その後「なかなか内容が難し

つつありますととを感謝します。 国のような暮しが出来ると書いておられましたが、その生活に入り人だ」というのを小さな声で感じました。宇宙人でも長老のような人だ」というのを小さな声で感じました。宇宙人でも長老のようなのようにアダムスキー氏の本を読んでいますが、このあいだ本を読のようにアダムスキー氏の本を読んでいますが、このあいだ本を読のようにアダムスキー氏の本を読んでいますが、このあいだ本を読のようにアジュスキー氏の本を読んでいますが、とのあいだ本を読

円さらりに

びのと致しまして、夫々に、必 sinのr, V_s in($\Omega r + \frac{2}{5}\pi$)及び V_s sin($\Omega r + \frac{4}{5}$ 電場の関係に就いて述べましょう。 3 個の球を、ア氏は<着陸用ギャ>とと称しましたけれど、コ るのです。 Jとスペスプラザが言って居る事から傍証される。陽極とは勿論磁極のNです。次に写真1の円盤にはっきり見える3個の球と回転 いられて居りまして、直接円盤の動力となって居るのではない事です。其れには、文献1の220頁に<彼は小石を拾い上げ、其れを落し、そ π)を与えますと、A, B:B, C及びC, A間の電位差は、 て、3相交流を充放電致しますと、中心部に回転電場が生じます。即ち、各コンデンサをA、B及 ンデンサである点は、文献4及び5 にも述べました。 此れを第1図の如く3回対称に配置数しまし して又拾ってから動き出す身振をした。>とあります。小石が落ちるのは重力に依る自由落下ですので、重力場推進(文献2)と云う事でしょ に就いて考えてみましょう。先ず、推進力となるのは飽く迄、重力であって、電磁場は円盤の量子燃料のスピンや4元運動量を制御する為に用 Ho、②回転電場の回転磁場及び④トラス静磁場の4種類である事を述べました。今回は、此等の電磁場がどの様に作用し、推進力を生じるか 5。①の静磁場は、文献3の31頁で「此の円柱の頂上は、普通は陽極になって居て、御覧の様に床を突き抜けて居る下部は、陰極になって居 前稿の<UFOの推進力>(NL#38)と<UFOの科学>(NL#40)にて、円盤の推進部に掛りてある電磁場は、①鉛直方向静磁場

 $= \sqrt{3} \Psi_0 \quad \cos \left(\Omega \tau + \pi \right), \quad (2)$

 $\Psi_{AC} = V_0 \left(\sin \Omega \tau - \sin \left(\Omega \tau + \frac{2}{3}\pi \right) \right) = \sqrt{3} V_0 \cos \left(\Omega \tau + \frac{2}{3}\pi \right), (3)$



電場位表々 $\mathbb{E}_{BA} = \frac{\sqrt{3} V_0}{\ell} \operatorname{cos}(\Omega \tau + \frac{\pi}{5}),$ となります。式の変形には、高校の数学での和と差を積に変換する関係を想い起して下さい。従って三角形ABCの一辺を复と致しますれば、

第2図の如くBA, $\dot{\rm B}_B$ 及びEc を採りますと、 $\dot{\rm E}_A=\frac{\Psi_o}{\ell}$ cos(\varOmega $\tau+\frac{\pi}{3}$) $\dot{\rm E}_8=\frac{\Psi_o}{\ell}$ cos(\varOmega $\tau+\pi$), なります。所で、スタ・デルタ変換に依りデルタ型電場ヴェクトルダイアグラムは、スタ型に変換出来ます(文献6)(第2図 $\mathbb{E} c = \frac{\Psi_0}{2} \cos \left(2 \tau + \frac{5}{3} \pi \right), (5)$ $(\sqrt{3}\Psi \circ / \ell) \cos(\Omega \tau + \pi), \quad \text{Eac} = (\sqrt{3}\Psi_{\circ} / \ell) \cos(\Omega \tau + \frac{5}{3}\pi), \quad (4)$

の場合は、反粒子場(反重力場)の対消蔵発光の様子から判断出来ます。トルマン・ベサラムやダニエル・フライ(ホワイトサンズ事件)の場 合は、カヴァで完全に覆って居ました(文献 ? 10)。扱而、回転電場が存在すれば、其の直角方向に回転磁場も生じます。何となれば、マクスクエル方程式の第1連、r of $H=\frac{1}{c}\frac{\partial D}{\partial t}$ (10)で、 $D=\epsilon E=\epsilon$ (E_1 cos Q τ , E_1 sin Q τ ,O)(11)と(6)及び 其の代りに変な物の附いて居る写真は、信用出来ぬと言う事になりましょう。但し、此のコンデンサをカヴォで覆って居る円盤も多い様で、此 陸用ギャと称した3個の球(コンデンサ)は、重要な役割を果たして居るのが解ります。此の球の見えて居る円盤の写真は、真ぴょう性が有り の位相角のは、 $tan \varphi = Ey \diagup Ex = tan \theta = tan (<math>Q \tau + \frac{\pi}{3}$)、 $\vdots \varphi = Q \tau + \frac{\pi}{3}$ (9)で回転電場が得られます。以上からア氏が着 た。即ち、電場の大きさは、 $|B|=\sqrt{E_X^2+E_Y^2}=\sqrt{(rac{3V_0}{2Z})^2}$ ($\cos^2\theta+\sin^2\theta$) $=rac{3V_0}{2Z}$ (一定),(8)であって、其 同様に致しまして、其のy成分 ${
m E}y$ は、 ${
m E}y=rac{3V_0}{2\ell}$ sinheta,(7)です。勿論、三角関数の和を積に変換する公式(文献8)を用いまし $+\frac{y_0}{\mathcal{L}}\cos(\theta+\frac{2}{5}\pi)\cos\frac{2}{5}\pi+\frac{y_0}{\mathcal{L}}\cos(\theta+\frac{4}{5}\pi)\cos\frac{4}{5}\pi=\frac{3}{5}\frac{y_0}{\mathcal{L}}\cos\theta$, (6) となります。但し、 $\theta=\Omega$ でした。 (12)となります。但しε及び $\sqrt{1-eta^2}$ は、場の誘電率及びロレンッ因子(文献11)でした。此れから誘起される磁場 H は、 (7) 化依拠して置きますれば、 $rot H = \frac{\varepsilon \partial \partial \tau}{\partial t}$ ($-sin \partial \tau$, $cos \partial \tau$, 0) $= \frac{\varepsilon \partial \sqrt{1-\beta^2}}{c}$ ($-sin \partial \tau$, $cos \partial \tau$, 0) (文献7)。 BA の方向に X 軸を、此れに直交して B_{B} の側に Y 軸を採りますれば、電場の X 成分 E_{X} は、 $\mathrm{E}_{\mathrm{X}} = \frac{V_{\mathrm{B}}}{Z}$ $\mathrm{cos}\,\theta imes \mathrm{coso}$

 $H=(-H_1 \sin \Omega \tau, H_1 \cos \Omega \tau, 0), (13) + \Delta \theta \pm U\tau,$

 $\mathbf{E} \cdot \mathbf{H} = \mathbf{E}_1 \cdot \mathbf{H}_1$ (一s in $\mathfrak{A}\tau$ cos $\mathfrak{A}\tau$ + cos $\mathfrak{A}\tau$ s in $\mathfrak{A}\tau$ + 0×0)=0, (14) C 直交致します。其処で、再び $\mathfrak{A}\tau \to \mathfrak{A}\tau - \frac{\pi}{2}$, (15) と置きますれば、 $\mathbf{E} = -\mathbf{E}_1$ (一s in $\mathfrak{A}\tau$, cos $\mathfrak{A}\tau$, 0) $H=(H_1 \cos \Omega \tau, H_1 \sin \Omega \tau, O), (16)$

Ho)を加えますれば、 $E=-E_1$ ($-sin Q \tau$, $cos Q \tau$, O), $H=(H_1 cos Q \tau$, $H_1 sin Q \tau$, Ho),(17)が円盤の中心部の電磁場と云う事になります(文献12)。三次元空間のヴェクトル図で表示しますれば、第3図の如くなりましょう。因みに、標準の です。 $\frac{7}{2}$ だけずずらせたのは、交流は何処から計り始めても作用は結局変らぬからでした。更に文献3)の37頁に依拠して、静磁場(0,0,

 π)=-Ψο sinΩτ ,及びΨο sin($\Omega \tau + \frac{6\pi}{4}$)=-Ψο cos $\Omega \tau$ となります。 $\sin \Omega \tau$, $\psi_0 \sin (\Omega \tau + \frac{2}{4}\pi) = \psi_0 \cos \Omega \tau$, $\psi_0 \sin (\Omega \tau + \frac{4}{4}\pi)$



の電磁場を掛けると、どの様になるのでしょうか? 其れには、先ず古くから知られて居りますフレンケル・クラマス方程式(文献16) ロクスプレナ(文献15)でしょう。後者は、高周波での磁気特性の優秀な、比較的新しい材料です。尤も、5,000年も文明の進んだ友星の 但し、成型加工は、(A)の方が遙かに困難でして、我々が模型を作る際に苦労する点です。更に、中心部の黒い部分は、フェライト又はフェ O。)又は(B)ロッシュル塩たす。機械的強度と耐圧の点では、断然(A)が優れて居りますので、恐らへ(A)が用いられて居りましょう。 機関には、更に優れた磁性材料が用いてありましょう。但し、我々が実作する時には、此の程度の材料となります。扱而、此等の材料に(17) 真;には白く見えて居ります。コンデンサの間に入れるのは、強誘電体が常識です。其の中で、白い物質は(A)チタン酸バリウム(BaTi る(文献14)ので、其の点からはコンデンサの数の多い方が有利でしょう。扱而、コンデンサの間は何で満たされて居るかと申しますと、写 即ち、アウラの宇宙機のコンデンサの配置は、第4図の様になって居る筈です。一般に、相の数が増すと、正n相交流の電力は、√nに比例す $\frac{dX}{d\tau} = \alpha (X \times H - S \times E), \quad \frac{dS}{d\tau} = \alpha (X \times E + S \times H), \quad (18)$

(20) となります。此れが負エネルギの為の、即ち円盤が浮き上る為の周波数条件〔文献19(B)〕です。 件は、 $H_0+\mathcal{Q}/\alpha<0$,(19) です。 $\alpha<0$ に注意して、(19)の分母を払いますと、不等号の向きは反転して、 $0<\alpha H_0+\mathcal{Q}$ 速度)の補正が加わった物と御考下さい。結果だけ申上げますと、月は第5図の如く、有効合成電磁場ヴェクトルH+iE+@/αの周囲を歳 <u> 差運動(文献18)致します。極性角運動量</u>別の作用は、エネルギー固有値(文献19)を決定致します。即ち上向きの時に正エネルギ状態に を(17)の電磁場の許に解いてみる必要があります。但し、 $\alpha=-g=e/mc$ で、米及び吊は軸性角運動量ヴェクトル及び極性角運動量 下向きの時に負エネルギ状態となります。 $\mathrm{H}+\mathrm{i}\,\mathrm{E}+\mathrm{\it B}/lpha$ 〔 $\mathrm{\it B}=$ ($\mathrm{\it O},~\mathrm{\it O},~\mathrm{\it B}$) $\mathrm{j}\,\mathrm{\it O}_\mathrm{\it Z}$ 方向の成分 $\mathrm{i}\mathrm{\it H}_\mathrm{\it O}+\mathrm{\it B}/lpha$ ですので、負エネルギの条 ヴェクトルです。 g は核 8 因子で、 a は電磁気的相互作用定数です。 r は固有時(文献17)です。固有時とは、普通の時間にエネルギ(或は

互作用定数ですので、 $H_0=10^2$ ガゥスに対しても、3,6×10 9 ラディアン/秒< 2,(21)

即ち周波数 f にして、1 ギガサイクル<f、(22)です。即ち、円盤の使用周波数は、相当に高いと云う事になりましょう。(22)は波長 人(cm)にして、 l <30cm,(23) の程度でした。但し、磁場を逆向きに採れば、例えば、

Ho=-100ガウス (24)

にはすと、 0<αHo (25)

表現でした。其れは、又別の方程式、 動量は、(17)の電磁場の許で、どの様に動くでしょうか? 申し遅れましたけれど、(18)の米や別は、量子燃料の各原子に蹴いての ですので、低周波でも(20)の周波数条件は満足されます。扱而、極性角運動量制御の条件は、大略以上の通りですけれど、原子の内部運

 $\frac{dp}{d\tau} = \alpha \left(p \times H + q \left(E + \frac{G}{c\alpha} \right) \right), \quad \frac{dq}{d\tau} = \alpha p \cdot \left(E + \frac{G}{c\alpha} \right), \quad (26)$

に従います。(p,iq)は原子の4 元運動量(文献21)です。pは通常の運動量(文献22)で、gは其の運動量の時間軸方向の成分と御考下さい。或は、エネッギのc分の1と考えて下さい。又、G= $\left(0,0,-g\right)$ は外部重力場です。uやでに関しましては、方程式((18)で説明致しました。(26)を解いた結果(文献23)のみ示しますと、

 $\frac{dQ}{dt} = m c \frac{a(a^2 + b^2 + d^2)tha\tau + db^2 sind\tau secha\tau}{a^2 + b^2 + d^2 - b^2 cosd\tau secha\tau}$ (27)

チタン酸バリウム m_1 と(B)フェライト m_2 に就きましては、 $ightarrow \mu\,g\,c$,($3\,0$)です。但し $\mu=rac{m_1\,m_2}{m_1\,+m_3}$ (換算質量)です。プ氏の すから、m1 =m2 =2,000キログラムはありましょう。即ち,μ=1,000キログラム程度です。従って、 円盤(写真1)の場合は、直径30フィート(文献25)、即ち直径10m内外(土星の物は更に大きい。此れは金星のスカウトシップ)で 今、sechatightarrow 0、及びthatightarrow 1($au
ightarrow \infty$)ですので、充分に時間が経った後に、 $rac{d}{d}rac{Q}{t}
ightarrow mca=mg、(28) です。所で、$ 但し $a=\frac{g}{c}$, $b=\alpha H_1=\alpha E_1=\alpha E_1$ 及び $d=\alpha H_0+\Omega$ で、 $tha \tau$ 及び $sech \tau$ は、双曲線三角関数(文献 24)でした。

地球の技術者は、エネルギを発生する動力源は其の乗物の内部に据えなくてはいけないと考える。だが、彼等の祖先達は、内部には動力源を 点です。其れに就いて、ダニエルフライの会ったウラニデス(文献2)のアラン(文献26)は<貨物や旅答を輸送する乗物を設計する際、 ば、其れ以上は馬力が出をいのですけれど、量子燃料の円盤の場合は、外部重力場の消滅せぬ限りエネルギの流入は続きますのも、大きな利 える程度の<反粒子機関>を母船との連絡用に使用して居ます。彼等の工学レベルの高るの一端でしょう。化学ロケットは、燃焼してしまえ ングが、500馬力程度である事を考えると、如何に円盤の馬力が大きいかが解ります。オソン(フ氏の会ったウラニデス)は、月旅行に使 (正確には、150ワット=0.15キロワット=1馬力)。NASAのサタンロケットが、 3,000万馬力程度であり、出力を上げたムスタ dw=3×10°キロワット~30億馬力(31)程度は馬力が出ます。但し、大略1キロワット~1馬力として、換算致しました。

のです。100パセントどころか、1000ガウス程度の磁場では、百万個の原子のほんの僅かしか反原子に変換されません。例えば99パ 通り出て来ます(後述)。其れは、電磁場(17)で、内部4元運動量を制御しても、熱擾乱がありますから、100%の値は期待出来ない れど、此の値を越えて、又(11)の電磁場で、方程式(26)に従って内部4元運動量を揃えた時には、効果が現われます。実験には其の れから離れてトラス磁場を掛けても、何の効果も無いと一応は考えられます。確に、1000万ガゥス程度以下では、効果は現われませんけ 動力環を貫いて流れさせる。>と。実は、此のトラス磁場は、地球の電子工学者や物理学者の夢想だにせぬ装置です。量子燃料の周囲に、其 幾って居りました。円盤の周囲にトラス磁場の存在して居る事は、前記のウラニデス(文献2)が、文献21で次の様に述べて居ります。 セントの原子がC変換(反粒子への変換)を受けるに充分なトラス磁場の円周成分 h は、次の関係に依拠して定ります。 <両極の構造物質には、君達には全く想像もつかぬ程多くの自由電子が含まれて居る。此の電子を制御装置に依り、機の上部と下部に見える る為に使われるのではなく、大部分はロックコイル(パワコイル)のオーム損失で消えます。即ち、最初に述べました④トラス磁場の問題が **に対する仕事率です。其の際、外部重力場のエネルギが、<反粒子機関>に流入するのです。尤も、此のエネルギが全て宇宙機の速度を上げ** すればよい。>と言って居る。<反粒子機関>は、将に其の様な物なのです。申し遅れましたが、(3 0)の右辺は、外部重力場の量子燃料 特たないで、大気の運動エネルギのみを利用して動く帆船に乗り(中略)。希望の結果を得る為には、其う云うエネルギを流す装置

$$100 = \frac{\alpha \text{m c a b h}}{6 \text{ k Tr}^2}$$

(32)

には作れますので、其の電流 i は、i² R≦3×10¹¹ , (34) なる不等式で示されます。即ち、i≦5.5×10′アムペア(35)は可能です。(3.5)と(3.3)を比較して、大略実現可能です。又、 半径です。T=300° K, $m {pprox} 10^{-24}$ グラム、lpha $1 {
m K}1$ $\sim {lpha}1 {
m S}1$ $\sim {
m M}8$ (ボア磁子)、 $E_1=H_1=100$ C 、G 、S 、 $H_0=10$ 0イルと称した)のパワは、最大限 3×10°キロワット=3×1011 ワットですので、一方ロックコイルの抵抗 は 10−1 オム程度 00ガタス、r=100cm程度と致しますと、h ≈2×161ガウス(33)となります。一方(31)からロックコイル(ア氏はパワコ 但し、kT, m, a, b及びrは、夫々熱エネルギ、原子の質量、a=--E X S 4131 IEI

けれど、(33)を供給するだけ、パワコイル(ロックコイル)にフィドバックされる電圧も大きくなければなりません。其の電圧は、重力 円盤のパワコイルは、其の上部に装着してあり、コンデンサコイルより1まわり小さくなって居ります。此れは(32)で其の半径rが増し ますと、ロック磁場hの値が非常に大きくなり過ぎるので、小さ目に作るのでしょり(文献27)。(35)は、パワコイルの電力条件です

 $\Psi = \frac{-d \perp \mu g}{\delta_{\alpha}} L(\beta) \qquad (36)$

 0×10 ° e, s, u, = 1 8×10 ° ポルト、(37)となります。此れは、前記の抵抗値に対しまして、(33)の磁場を与えるのに に説明致しました。 $\Gamma=10^{-6}$ 〜ンリとして、写真1の円盤に就って、前述した様に $\mu=1$ トン= 10^{6} グラムと致しますれば、 $\Psi=6$ L(eta)は、前記のトラス磁場に関与した確率で、(3一3)の値に対して、L(eta)=0.99(99パセント)でした。 g、α及び μ は、前 程度です。但し、Lは量子燃料の重心を通る鉛直無限速直線とパワコイル(ロックコイル)との相互インダクタンス(文献28)です。

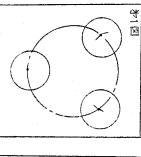
は、絶対に得られません。重力の加速に頼る以外にないのです。又、重力の歪エネルギは、以外と大きく、1立方センチ当り、 盤の電圧も電流も非常に高い事が解ります。(31)や(33)の電圧や電流を定常的に得る事は、通常のパッテリやトランスを用いたので です。但し、(36)は、C,G,S,表示ですので、ヘンリはセンチメトル(C,G,S,の値)に直して算定致します。確に円

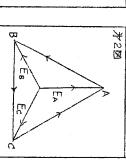
時のコンデンサコイルの応答は写真るの様になりました。 NL#38の写真の模型の励起コイルにUYー807単段の徴分器で、パルスを投入した 0キログラムならば、推力は10 0 0キログラムです。即ち、写真1の円盤は、其の程度の推力でして、最大数人は人間が乗れる訳です。尚、 其の時アインシュタインの方程式(文献31)に従いまして、+μgで上方に れます。此れが円盤の推力です。即ち、μ=10 0 w = -54×1011 エルグ/立方センチ、もあります。扱而、以上に依りまして、量子燃料は完全に負エネルギ体と

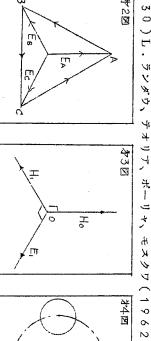
記(1958)高交社。4)村雨光之介、日本GAPNL#40(1969)25。 野拓美、科学読売(1959年8月)読売新聞社。3)G.アダムスキ、空飛ぶ円盤同乗 1962)38。7)村雨光之介、超相対理論、二宮工房(1969)附録A-5。)(A)河田竜夫、解析 II の研究、)村雨光之介、日本GAPNL#38(1969)5。6)高橋秀俊、回路、裳華房 1)G,アダムスキ、空飛ぶ円盤実見記(1969)高文社。2)柴 旺文社(1953)254。(B)村勢一郎、数学

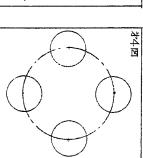
清水書院(1966)79。9)T. ペサラム、空飛ぶ円盤と宇宙(1957)巻

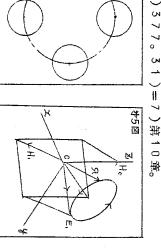
26)=10)41。27)=3)巻頭図28)高橋秀俊、電磁気学、裳華房(1960)244。 図書KK(1966)74。23)=7)第5章。24)岩切晴二、微分積分学精説、培風館(1953 9)90。20)東京電気化学KK線、 時代の常識、講談社(1968)66。18)山内恭彦、一般力学、岩波(1965)139。19)梅沢博臣、 H・A・クラマス、フィジカ,1(1934)825。(B)清家新一、GAP NL#37(1969)32。17)(A)猪木正文、宇宙 気工学通論、オム社(1958)109。15)G・H.Jonker, Philips, Tech, 至文堂(1964)41。12)清家新一、(A)GAPNL#37(1969)32。(B)第11回宇宙科学技術講演会抄録(1968 頭図。10)ダニエル・フライ、我々は円盤に乗った、CBA International(1959) 44。(C)第8回国際宇宙科学技術シンポジウムプロシディングス(1969)a-1-7。13)=9)122。14)大山松次郎、電 高文社(1960)90。 TDK1969年マニュアル(1969)。21)=11)86。22)藤岡由夫、物理B、大日本 Rev, B (1956)145, 15) (A 29)平野威馬雄、此れが空飛ぶ円盤だ 57。11)矢野健太郎、相対性理論、 $)29_{\circ}25)=1)241_{\circ}$ **裳華房(195**











絶贊刊行中 超相対性理論 村雨光之助著

B 5 版· 2 4 7 頁 ¥ 5 0 0· = 1 0 0

円盤の動力の解析とタイムマシンの定式化!

内 容 (1)全角運動量波方程式 (2)相対論的球関数 (3) 電分極量子演算子 (4)情家クラマス方程式 (5)状態運動量 の従う方程式 (6)超光速ロレンツ変換 (7)多重調和方程式 (8)重力直接発電(重力エネルギ密度、統計熱力学的確率、 ロック磁場、出力電圧、発電容量、実験結果) (9)反粒子 申込先·798愛媛県宇和島市 大宮町1丁目4番12号 清 家 新 一(宛)

*現金書留・小切手可 郵券不可

ロック磁場、出力電圧、発電容量、実験結果) (9)反粒子 機関(三円盤)(反粒子の重力場、反粒子機関の推力と出力) (10)時間反転機(ニタイムマシン=航時機) (11)付録 (A)4次元数学諸公式 (3)懐しのメロディー (2)研究を開く言葉(和歌、爽詩、小説、各言) ◎詳細資料御希望の方は〒25同封、著者宛申込まれたい。

新刊 空飛ぶ円盤とアダムスキー 久保田八郎編 新書版 一死と空間を超えて一 ¥480 〒85

かつて日本 G A P が刊行した「死と空間を超えて」が絶賛りに品切れとなり、再版が 待たれていたところ、有信堂高文社よりアダムスキーシリーズの一環として上記の題で刊 行された。金星旅行記や土星旅行記等を含む驚異的な体験記類と宇宙哲学の論説、日本 G A P 代表久保田八郎に宛てたアダムスキーの数十通の書簡全部を公開。研究家必携の書。 御注文は必ず有信堂高文社へ(113—91 東京都文京区本郷5—30—20度たは書店へ。

新刊生命の科学 B 6版・170頁 G・アダムスキー著 ¥420 55

発 付 所 東京都文京区白山1―29—12・文 久 書 林

これもかつて日本GAPでタイプ印刷本を発行して大好評を博した結果、文久書林より本格的。 活版印刷の単行本として新装の上刊行された。 G・アダムスキーが宇宙一選に分けて説いたえられた人間の生き方を十二課に分けて説いたえた人必読の書。現代の聖書であり、これを読んで同生活に実践すれば奇跡が生じるといわれる。同様編と行のアダムスキー著「テレパシー」の姉妹編としてあなたの書架へぜひ一冊を。御注文域必ず直接文久書林へどうぞ。

日本GAPニューズレター旧号

次のもの在庫あり。ご注文は東京都江戸川区 篠崎6-231、日本GAP宛にされたい。 第34、35号(以上各130円)第36、37、39、 40号(以上各150円。送料は一切不要。第38 号は品切れ。)

一隔月刊誌一 た ま

2 1 世紀の文明のあり方を目指して物心両面から人間の生き方を追求し、覚醒への警鐘を打ち鳴らして、宇宙意識への道標と旗印を掲げんとするパイオニア一誌。特に第13号より久保田代表の"宇宙意識開発講座"が連載されている。◎発行所─東京都新宿区納戸町33、西応ビル内たま出版 ◎1部送料共135円。年間720円。

復刊 日本GAP副機関誌

一字宙同好通信改題一

宇宙通信 43号

1部送料共125円。発行は日本GAPなるも、申込先は下記の所であるから間違えないように注意されたい。

171 東京都豊島区西池袋4-3-3 福和荘7号室 山 本 佳 人 (宛)

この機関誌は<副>として、ニュー ズレターに掲載しきれない記事をのせ るので、会員の親ぼく機関でもあるか ら、購読者は編集者の山本宛にどしど し投稿されたい。

隔月刊 超心理研究専門誌 テレパシー

テレパシー、透視、千里眼、予感、 予知、念写、思念写真その他の超心 理現象を研究するまじめな専門誌で、 この方面に関心ある人には必読の誌。 主宰者市村俊彦氏は物理学者であっ て、超心理を科学的に解明しようと されるすぐれた研究家である。

- ②入会金200円。年額1、000円。 ◎ 1部定価200円、送料65円。
- ◎発行所=950-02新潟県中蒲原郡横越村横越 超心理研究会

いて、 た木片に刻まれた言葉です。 誤解する友にすぎない!」というのは、かつてアダムスキーがパロ できぬままに誤解が生じ、敵対関係が生まれます。「敵とは自分をん。万人は結局友情を欲しているのでしょうが、人間の実体が理解 ーマー・ガーデンズに住んでいた頃、広場の樹木にぷらさげてあっ 温かい激励の御言葉をたまわるほどうれしいことはありませ、難く頂戴仕りました。実際、困難と狂気に満ちたこの世界に (仕りました。実際、困難と狂気に満ちたこの世界に例によって当方は一切失礼しましたが、御厚意は心の会員各位より御祝詞をたまわりまして厚く御礼を

とかおわかりにならないでしょうが、ここでは詳述を避けることにっていた前生の記憶をなつかしく思い出します。といっても何のとせんから御安心下さい。いてつく夜空の星々をながめれば幼時に持起因するのでありまして、編者にヤル気がなくなったのではありま巾に遅れて全く申訳ありませんが、これはすべて編者の生活環境に◎本号はアポロ計画にちなんで『月特集号』としました。発行が大◎本号はアポロ計画にちなんで『月特集号』としました。発行が大 します。

とによってその日のうちに相手が戦死する運命にある**か**否か予知で験を持たれたとのことで、特に出撃前の点呼の際に兵の顔を見ると思として中国大陸を転戦されましたが、その間いろいろな神秘的体工鳴らしたスポーツマンであり、戦争中は浜田二十一連隊の歩兵大里島根県益田市に近い浜田市の御出身で、若い頃は柔道の猛者としした。同書林の岸社長に深く膨謝する次第です。同社長は編者の郷した。同書林の岸社長に深く膨謝する次第です。同社長は編者の郷の・生命の科学、が文久書林より本格的な単行本として出版されま 社刊のアダムスキー関係訳書の出版にも同氏が原動力となられましきたということです。アダムスキーにも深い興味を寄せられ、高文

ります。 本GAP版を活版印刷にしたものですが、ミスプリ等を除去してあずGAP版を活版印刷にしたものですが、ミスプリ等を除去してあります。送料不要。文久書林版は日 ◎なお日本GAP版、生命の科学、(タイプ印刷、 一部三〇〇円の

大工学部電気工学科四年在学中、横須賀市にお住まいの熱心な学徒◎「テレパシーの体験」と題する記事を寄せられた高原光夫氏は明

今年中は実験に主力を注ぎたいけれども資金不足で思うようにゆか学会で「反粒子の重力」と題して発表されるとのことです。同氏は面目を発揮しました。来たる四月一日には高知大で行をわれる物理題する講演を行ない、二十一世紀の科学の先駆者としていかんなくた『第十三回宇宙科学技術講演会』に出場し、「反原子宇宙機」と去る一月二十九日に東京都調布市の航空宇宙技術研究所で開催され去る一月二十九日に東京都調布市の航空宇宙技術研究所で開催され 接同氏宛御連絡下さい。住所は右頁の広告中にあります。ず、さしあたって十万円を要するとのとと、援助の意志ある方は直 題する論文を寄せられました。同氏の学説は難解ですが、◎おなじみの村雨光之助(清家新一)氏がまた「円盤の電 ◎とにかく頑張りましょう─お互いに。 確実に行なわれています。詳細は本誌第4号の31頁をごらん下さい。 ◎日本GAP東京本部の月例研究会、大阪支部の月例研究会は毎月 ◎当方への会費その他の御送金はなるべく振替を御利用下さい。 る人もあるようで、 ムスキー派。勇気ある男、ア・T・シャーウッド氏は二冊注文し、 しているとの由、喜ばしいことです。特に米国ロチェスターのアダ 一冊をニクソン大統領の科学顧問に渡すということです。 氏の "超相対性理論" は海外からも引合が殺到 開催され 理解でき

日 本 G Α P 1 ズレ 1 9 0 第四 郞

昭和45年 2月28日 発行 不定期刊-翻訳編集発行人 133 行 東京都江戸川区篠崎六丁目二三一 所 頒価一五〇円・送料三五円 日 久 電話(六七九)三二四七 (久保田八郎個人名遙) 保 東京三五九一二 G 田 P

★禁無断転載